

～ 「そば」をツールに荒廃農地 再生へ ～

長野県木祖村

取組主体： 木祖村

取組開始時期： 平成21年

解消面積： 6ha（平成25年時点）

導入作物： そば

1. 取組のきっかけ・経緯

- ・ 過疎化に伴い農家数の減少、農地の耕作放棄による耕地の減少
- ・ **耕作放棄遊休農地**解消を進めるため、菅地域にそばの作付けを推進
- ・ 菅地区ソバ振興組合設立（H21）
- ・ 農地の荒廃化の未然防止と再生に努め、合わせてそばによる地域振興を図る。

2. 取組内容

- ・ 棚田地域遊休農地解消事業により耕作放棄地再生（H21 0.14ha）
- ・ はくさいとの輪作体系によるそばの推進
- ・ 耕作放棄地再生利用緊急対策事業により荒廃農地再生（3.50ha）
- ・ 同上事業による再生事業加速化を図るため村単補助事業の制度化（35,000円/10a嵩上補助）
- ・ そば需要に合わせた夏そば栽培による作付け調整及び販路確保
- ・ そば加工品試作⇒商品化（当面は専門業者への委託加工）
- ・ 関係機関や組織等との連携による地元産玄そばの消費拡大

3. 今後の課題・予定など

耕作放棄地の再生により生産された「木曾川源流の里きそむら産」のそばを地元で消費するほか、地産地消のさらなる一歩となるべく、自ら生産するそばを加工・販売し付加価値を生み出す新たな事業展開により、生産者の所得向上に結び付け、荒廃農地再生の推進と地域振興を図る。

- ・ 木曾川源流の里きそむら産のブランド化（販路拡大）
- ・ 収穫祭（そば祭り）の企画
- ・ 統一メニューの開発
- ・ 体験メニューの検討

4. 活用した補助事業

（国）耕作放棄地再生利用緊急対策 3.5ha 再生作業

（県）棚田地域遊休農地解消事業 0.14ha



再生前



再生後